平成 27 年

文化財火災防ぎょ訓練

実施日時：平成 27 年 1 月 26 日（月）10:00～11:00

実施場所：国津比古命神社：松山市八反地甲 107 番地

松山市中央消防署

１　目的

この訓練は、文化財を火災・震災その他の災害から保護し、被害を軽減するとともに、文化財保護思想の普及高揚を図るために定めた「文化財防火デー」行事の一環として、県文化財に指定されている国津比古命神社楼門（くにつひこのみことじんじゃ ろうもん）を対象に火災防ぎょ訓練を実施し、施設管理者や関係機関・地域住民との連携体制の構築・強化と、地域住民に対する防火・防災意識の高揚に努めるとともに、大勢の氏子が集い盛大に開催される秋の大祭「みこし落とし」の場でもある当神社を地域の宝として継承するために実施するものです。

２　実施日時

平成 27 年 1 月 26 日（月曜日）　10 時 00 分～11 時 00 分
（小雨決行、雨天時は中止）

３　実施場所

国津比古命神社（くにつひこのみことじんじゃ）（松山市八反地甲 107 番地）

※「別紙 1 付近見取図・訓練会場詳細図」参照

４　参加機関【10 機関／約 135 名】

（１）国津比古命神社（宮司 2 名・風早大氏神総代会 9 名）
（２）松山市正岡公民館　館長（1 名）
（３）正岡まちづくり協議会
（４）正岡八反地区自主防災会（40 名）
（５）正岡高田区自主防災会（30 名）
（６）正岡地区　市民救急サポーター
（７）松山市役所北条支所　支所長（1 名）
（８）松山市教育委員会　文化財課課長（1 名）
（９）松山市中央消防署・城北支署・北条支署（32 名）
（10）松山市消防団（19 名）
　　井戸団長
　　宮野副団長（第８方面隊長）
　　第 8 方面隊（正岡分団 10 名・北条分団 7 名）

５　訓練想定

平成 27 年 1 月 26 日、連日の冬型の気圧配置により火災気象通報及び強風波浪乾燥注意報が発表され、火災の起こりやすい気象状況の中、国津比古命神社西側の山林から出火し、折からの強風にあおられ、本殿・楼門へ延焼拡大する危険が迫っている模様。

６　気象状況

天候／くもり
風向・風速／北西・10m/sec
気温／7 度
湿度／40%
注意報等／強風・波浪・乾燥注意報、火災気象通報発表中

７　訓練重点項目

（１）火災発生時の施設管理者等による初動対応訓練
　火災発生時の、施設関係者による初期消火、消防機関への通報、避難誘導及び重要物品の搬出。

（２）地域住民との連携・協力体制の強化
　文化財を災害から守るためには、関係機関や文化財管理者等だけでなく文化財周辺の近隣住民との連携・協力が必要であることから、地域住民による水バケツリレーを実施し、連携・協力体制の強化と防火・防災意識の高揚に努める。

（３）人命救助を最優先とした、関係機関との連携した救助・消火活動
　施設関係者・地域住民と消防署・消防団が連携し、人命救助を最優先とした消防活動を展開し、被害の軽減に努める。

８　その他

（１）訓練実施にあたり、「松山市消防安全管理規定」及び「松山市消防における訓練時安全管理要綱」を遵守し、安全管理体制に万全を期し、事故防止に努める。

（２）活動隊の通信体制は、出動指令にあっては活動波 3 チャンネルを、活動にあっては署活系無線機 2 チャンネルを使用し活動することとする。

（３）訓練参加車両は、「訓練車両待機位置図及び走行経路図」に示すとおりとし、前照灯・赤色灯の点灯及びサイレンを吹鳴させること。
　※車両運行については、普通走行で交通規制に従い安全運行に努めること。

（４）訓練の終了は、現場最高指揮者の指示により終了する。

（５）本訓練は、小雨決行とし、気象警報など発令時は中止とする。
　中止の決定は、当日 8 時 00 分に決定し、関係機関へ周知する。

以上